

第3章

事業者調査結果

1 事業所の概要（令和元年11月1日現在）

（1）事業所の運営主体はどれですか。（○は1つ）

〔居宅系事業所〕では「営利法人」が、〔GH〕では「NPO法人」が、〔施設系事業所〕〔相談支援事業所〕では「社会福祉法人（民間）」が最も高くなっています。

表 事業所の運営主体

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	国・地方公共団体の直営	医療法人	社会福祉法人（民間）	社会福祉法人（外郭団体）	営利法人	NPO法人	その他の法人	無回答
居宅系事業所	38 100.0	0 0.0	0 0.0	5 13.2	0 0.0	18 47.4	11 28.9	4 10.5	0 0.0
GH	38 100.0	0 0.0	0 0.0	12 31.6	0 0.0	4 10.5	22 57.9	0 0.0	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	1 0.7	2 1.4	57 38.8	1 0.7	39 26.5	36 24.5	11 7.5	0 0.0
相談支援事業所	51 100.0	0 0.0	1 2.0	33 64.7	0 0.0	6 11.8	6 11.8	5 9.8	0 0.0

（2）〔相談支援事業所〕事業所の運営形態はどれですか。（○は1つ）

「地域相談支援センター」が最も高くなっています。

表 相談支援事業所の運営形態

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	基幹相談支援センター	地域相談支援センター	指定特定相談支援事業所のみ（指定のみ）	左記及び指定障害児相談支援事業所（指定のみ）	無回答
相談支援事業所	51 100.0	5 9.8	18 35.3	16 31.4	10 19.6	2 3.9

(3) 事業所の年間収支状況はどれですか。(○は1つ)

〔居宅系事業所〕〔GH〕〔施設系事業所〕では「おおむね均衡」が最も高くなっています。一方〔相談支援事業所〕では「継続的な赤字である」が最も高く、60%を超えています。

表 事業所の年間収支状況 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	赤字である	おおむね均衡	現在は赤字だが、近々黒字になる予定である	ある継続的な赤字で	無回答
居宅系事業所	38 100.0	11 28.9	17 44.7	3 7.9	5 13.2	2 5.3
GH	38 100.0	12 31.6	20 52.6	1 2.6	5 13.2	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	37 25.2	60 40.8	16 10.9	31 21.1	3 2.0
相談支援事業所	51 100.0	4 7.8	12 23.5	3 5.9	31 60.8	1 2.0

(4) 事業支出における人件費の割合はどれですか。(○は1つ)

〔居宅系事業所〕〔施設系事業所〕〔相談支援事業所〕では「70%以上」が、〔GH〕では「50%以上60%未満」が最も高くなっています。

表 事業支出における人件費の割合 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	30%未満	40%未満 30%以上	50%未満 40%以上	60%未満 50%以上	70%未満 60%以上	70%以上	無回答
居宅系事業所	38 100.0	3 7.9	3 7.9	2 5.3	0 0.0	11 28.9	18 47.4	1 2.6
GH	38 100.0	0 0.0	0 0.0	4 10.5	12 31.6	9 23.7	11 28.9	2 5.3
施設系事業所	147 100.0	4 2.7	3 2.0	14 9.5	17 11.6	43 29.3	59 40.1	7 4.8
相談支援事業所	51 100.0	1 2.0	1 2.0	1 2.0	2 3.9	7 13.7	36 70.6	3 5.9

(5)〔施設系〕事業所の活動の場について賃貸借契約により使用していますか。(○は1つ)

表 賃貸借契約による使用 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	はい	いいえ	無回答
施設系事業所	147	109	34	4
	100.0	74.1	23.1	2.7

【賃貸借契約による使用と答えた事業所】

(5)-1〔施設系〕活動の場の面積は何平方メートルですか。

表 活動の場の面積 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	50㎡未満	50㎡ ～ 100㎡未満	100㎡ ～ 200㎡未満	200㎡ ～ 300㎡未満	300㎡ ～ 400㎡未満	400㎡以上	無回答
施設系事業所	109	15	45	24	7	4	7	7
	100.0	13.8	41.3	22.0	6.4	3.7	6.4	6.4

【賃貸借契約による使用と答えた事業所】

(5)-2〔施設系〕活動の場の賃貸借料は月いくらですか。

表 活動の場の賃貸借料 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	10万円未満	10万円 ～ 20万円未満	20万円 ～ 30万円未満	30万円 ～ 40万円未満	40万円 ～ 50万円未満	50万円以上	無回答
施設系事業所	109	5	33	31	9	10	13	8
	100.0	4.6	30.3	28.4	8.3	9.2	11.9	7.3

2 事業展開における現状と課題

(1) 貴事業所が提供している障害福祉サービスはどれですか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕では「居宅介護（ホームヘルプ）」が最も高く、90%を超えています。また、〔施設系事業所〕では「地域活動支援センター」が最も高くなっています。

表 提供している障害福祉サービス（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者包括支援	移動支援	あんしんサポート	生活サポート	障害児ファミリーサポート	日中一時支援	その他	無回答
居宅系事業所	38	35	27	11	9	0	21	10	2	1	2	1	1
	100.0	92.1	71.1	28.9	23.7	0.0	55.3	26.3	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6

表 提供している障害福祉サービス（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	生活介護	療養介護	短期入所（ショートステイ）	施設入所支援	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	就労定着支援	自立生活援助	地域活動支援センター
施設系事業所	147	38	0	8	3	0	4	10	9	23	8	2	41
	100.0	25.9	0.0	5.4	2.0	0.0	2.7	6.8	6.1	15.6	5.4	1.4	27.9

項目	回答者数	日中一時支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	その他	無回答
施設系事業所	147	3	20	30	1	0	11	0
	100.0	2.0	13.6	20.4	0.7	0.0	7.5	0.0

(2) どのような方法で利用者の意見・苦情を受け付けていますか。(〇はいくつでも)

いずれも、「苦情対応責任者・苦情受付担当者を配置して受け付けている」が最も高くなっています。

表 利用者の意見・苦情の受け付け方法（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	書面で受け付けている（郵送で受け付ける、意見書箱を設置するなど）	電話で受け付けている	メールで受け付けている	苦情対応責任者・苦情受付担当者を配置して受け付けている	第三者委員を配置して受け付けている、川崎市障害福祉施設事業協会の苦情解決支援事業に加盟している	その他	特に利用者の意見・苦情を受け付ける仕組みは設けていない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	9 23.7	31 81.6	15 39.5	33 86.8	6 15.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0
GH	38 100.0	14 36.8	25 65.8	12 31.6	37 97.4	20 52.6	9 23.7	0 0.0	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	70 47.6	115 78.2	60 40.8	133 90.5	63 42.9	23 15.6	1 0.7	0 0.0
相談支援事業所	51 100.0	28 54.9	45 88.2	23 45.1	47 92.2	28 54.9	6 11.8	0 0.0	0 0.0

(3) どのような方法でサービスの質の向上に取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕では「職員研修の実施など人材育成を行っている」が、〔GH〕〔施設系事業所〕〔相談支援事業所〕では「利用者個々の状況に応じたサービス提供の工夫」が最も高くなっています。

表 サービスの質の向上への取組 (複数回答)

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	地域における障害者支援ネットワークの構築	利用者個々の状況に応じたサービス提供の工夫	職員研修の実施など人材育成を行っている	事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている	利用者からサービスの質に関する評価を受けている	第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けている	ISO 9001を導入している	その他	特に取り組んでいない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	7 18.4	32 84.2	35 92.1	7 18.4	8 21.1	2 5.3	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0

表 サービスの質の向上への取組 (複数回答)

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	地域における障害者支援ネットワークの構築	特別支援学校卒業生などの新規利用者の受け入れのための取組	重度障害者等の受け入れのための取組	強度の行動障害がある利用者の受け入れのための取組	医療的ケアの必要な利用者の受け入れのための取組	利用者個々の状況に応じたサービス提供の工夫	一人暮らしへの移行のための取組	職員研修の実施など人材育成を行っている	事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている	利用者からサービスの質に関する評価を受けている
GH	38 100.0	16 42.1	5 13.2	9 23.7	10 26.3	5 13.2	37 97.4	16 42.1	33 86.8	7 18.4	3 7.9

項目	回答者数	第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けている	ISO 9001を導入している	その他	特に取り組んでいない	無回答
GH	38 100.0	6 15.8	0 0.0	3 7.9	0 0.0	0 0.0

表 サービスの質の向上への取組（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	地域における障害者支援ネットワークの構築	特別支援学校卒業生などの新規利用者の受け入れのための取組	重度障害者等の受け入れのための取組	強度の行動障害がある利用者の受け入れのための取組	医療的ケアの必要な利用者の受け入れのための取組	利用者個々の状況に応じたサービス提供の工夫	日中活動・就労訓練などの場所の確保メニュー充実などの取組	一般就労促進の取組	商品開発や工賃アップの取組	地域生活への移行のための取組
施設系事業所	147 100.0	64 43.5	56 38.1	36 24.5	38 25.9	10 6.8	128 87.1	93 63.3	30 20.4	50 34.0	26 17.7

項目	回答者数	職員研修の実施など人材育成を行っている	事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている	利用者からサービスの質に関する評価を受けている	第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けている	ISO 9001を導入している	その他	特に取り組んでいない	無回答
施設系事業所	147 100.0	100 68.0	28 19.0	41 27.9	21 14.3	0 0.0	8 5.4	0 0.0	0 0.0

表 サービスの質の向上への取組（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	地域における障害者支援ネットワークの構築	利用者個々の状況に応じたサービス提供の工夫	検討会等に参加している	基幹相談支援センターや自立支援協議会等が開催する事例	等からスパーバイズを受けている	貴事業所以外の相談支援機関	グループスーパージョンに参加している	職員研修の実施など人材育成を行っている	事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている	利用者からサービスの質に関する評価を受けている	第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けている	ISO 9001を導入している
相談支援事業所	51 100.0	32 62.7	46 90.2	28 54.9	17 33.3	25 49.0	34 66.7	9 17.6	9 17.6	5 9.8	0 0.0	0 0.0	

項目	回答者数	その他	特に取り組んでいない	無回答
相談支援事業所	51 100.0	3 5.9	0 0.0	0 0.0

(4) 貴事業所では、虐待あるいは虐待が疑われるケースについて、どのような対応をしていますか。また、実際にそのような例がない場合、どのような対応をとるよう準備していますか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕〔GH〕〔施設系事業所〕では「発見した場合、管理者に報告するよう指導している」が、〔相談支援事業所〕では「行政に相談するよう指導している」が最も高くなっています。

表 虐待への対応や準備(複数回答)

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	発見した場合、管理者に報告するよう指導している	事業所内の上司や同僚に相談できる環境を整えている	事業所独自の対応マニュアルを作成(準備)している	行政に相談するよう指導している	相談支援センター(相談支援事業所)に相談するよう指導している	その他	特に対応は考えていない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	34 89.5	30 78.9	20 52.6	18 47.4	15 39.5	2 5.3	1 2.6	0 0.0
GH	38 100.0	36 94.7	34 89.5	16 42.1	15 39.5	16 42.1	8 21.1	0 0.0	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	132 89.8	108 73.5	54 36.7	71 48.3	53 36.1	17 11.6	0 0.0	1 0.7
相談支援事業所	51 100.0	46 90.2	23 45.1	4 7.8	49 96.1	0 0.0	4 7.8	0 0.0	0 0.0

(5) 〔GH〕第4次ノーマライゼーションプラン改定版では、グループホームの定員を毎年90名ずつ増員するとしています。この数は適正だと思いますか。

「わからない」が57.9%、「適正である」が15.8%となっています。

表 グループホームの定員増員適正か

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	とても多い	多い	適正である	少ない	とても少ない	わからない	無回答
GH	38 100.0	2 5.3	3 7.9	6 15.8	2 5.3	2 5.3	22 57.9	1 2.6

(6) 貴事業所が事業を展開する上での問題点・課題はありますか。(〇はいくつでも)

いずれも、「職員の確保が困難」が最も高くなっています。また、〔相談支援事業所〕では「サービス単価が低い」も最も高くなっています。

表 事業展開上の問題点・課題（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	利用者の確保が困難	職員の確保が困難	職員の雇用条件・福利厚生が不十分	事務など間接経費が高い	人件費が高い	経理・国保連請求事務など事務作業が多い	サービス単価が低い	運営・運転資金の確保が困難	事業所（営業拠点）の確保・維持が困難	同種の事業者が多すぎ競争が激しい	サービス提供地域内に	その他	特になし	無回答
居宅系事業所	38	4	36	6	9	7	11	18	5	1	2	1	2	0	
	100.0	10.5	94.7	15.8	23.7	18.4	28.9	47.4	13.2	2.6	5.3	2.6	5.3	0.0	
GH	38	10	32	9	6	4	17	15	11	17	0	11	0	0	
	100.0	26.3	84.2	23.7	15.8	10.5	44.7	39.5	28.9	44.7	0.0	28.9	0.0	0.0	
施設系事業所	147	47	102	45	16	39	40	43	42	20	20	15	6	2	
	100.0	32.0	69.4	30.6	10.9	26.5	27.2	29.3	28.6	13.6	13.6	10.2	4.1	1.4	

表 事業展開上の問題点・課題（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	利用者の確保が困難	職員の確保が困難	職員の雇用条件・福利厚生が不十分	事務など間接経費が高い	人件費が高い	経理・国保連請求事務など事務作業が多い	サービス単価が低い	個別給付の加算が複雑で算定しづらい	運営・運転資金の確保が困難	事業所（営業拠点）の確保・維持が困難
相談支援事業所	51	4	36	10	10	19	22	36	24	16	6
	100.0	7.8	70.6	19.6	19.6	37.3	43.1	70.6	47.1	31.4	11.8

項目	回答者数	事業実施にあたって必要な情報を得づらい	貴事業所以外の相談支援機関等からスパーバイズを受けられない	近隣に同種の事業者が多く、競争が激しい	その他	特になし	無回答
相談支援事業所	51	4	3	0	3	0	2
	100.0	7.8	5.9	0.0	5.9	0.0	3.9

3 障害福祉サービスの実施状況

(1) 〔居宅系〕貴事業所が提供している障害福祉サービスについて、どのような利用者に対応できる体制にありますか。(〇はいくつでも)

表 対応できる利用者(複数回答) 単位:上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	身体障害者	知的障害者	精神障害者	障害児	難病患者等	無回答
居宅系事業所	38 100.0	37 97.4	32 84.2	27 71.1	16 42.1	14 36.8	0 0.0

(2) 〔居宅系〕〔相談支援〕提供している障害福祉サービスについて、新規のサービス(契約を必要とする相談)依頼があった場合に、どの程度対応できる体制にありますか。(〇は1つ)

いずれも、「5件未満なら対応できる」が最も高くなっています。

表 新規依頼への対応体制 単位:上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	5件未満なら対応できる	5〜10件程度なら対応できる	11〜20件程度なら対応できる	21件以上でも対応できる	対応できない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	25 65.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0	11 28.9	1 2.6
相談支援事業所	51 100.0	22 43.1	9 17.6	2 3.9	2 3.9	14 27.5	2 3.9

(2)-1 〔相談支援〕現状より多くの新規相談(契約を必要とするもの)に対応するための体制等において問題点・課題となっている点がありますか。(〇はいくつでも)

「職員が足りない」が最も高くなっています。

表 新規相談対応のための体制等における問題点・課題(複数回答) 単位:上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	職員が足りない	配置職員が他業務と兼務している	職員に対応するスキルがない	事務処理等の業務が煩雑	その他	無回答
相談支援事業所	51 100.0	36 70.6	20 39.2	10 19.6	24 47.1	9 17.6	3 5.9

- (3) 〔居宅系〕貴事業所が提供している障害福祉サービスを提供するにあたり、保健福祉センター（区役所）や相談支援センター（相談支援事業所）などの職員との連携やサービス利用計画について、問題と感じられることはありますか。（〇はいくつでも）

「特にない」が最も高く、ついで「個別支援会議（ケアカンファレンス）が不十分」となっています。

表 障害福祉サービス提供上の問題点（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	区役所や相談支援センターなどの職員と連絡がとりにくい	個別支援会議（ケアカンファレンス）が不十分	利用者に関するサービス事業者の意見を聞いてほしい	サービス利用計画の課題の分析（アセスメント）が不十分	利用者への訪問・連絡が不十分	サービス利用計画実施後の評価（モニタリング）が不十分	サービス利用計画が利用者の状況に対応していない	利用者の変化やニーズについて対応が遅い	自立支援という視点に立ったサービス利用計画となっていない	障害福祉サービス以外のサービスや社会資源を含めた総合的なサービス利用計画となっていない	その他	特にない	無回答
居宅系事業所	38	6	12	8	6	6	5	5	6	7	4	2	13	3
	100.0	15.8	31.6	21.1	15.8	15.8	13.2	13.2	15.8	18.4	10.5	5.3	34.2	7.9

- (4) 〔施設系〕貴事業所において、調整や連携が取りやすい、取りにくいと感じる関係機関等がありますか。（〇はいくつでも）

調整や連携が取りやすい機関は、「相談支援センター（相談支援事業所）」が最も高く、調整や連携が取りにくい機関は、「特にない」が最も高くなっています。

表 調整や連携が取りやすい・取りにくいと感じる関係機関等（複数回答）

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	区役所・支所	上記以外の行政機関	相談支援センター（相談支援事業所）	かかりつけ医	利用者の家族	その他	特にない	無回答	
施設系事業所	調整や連携が取りやすいと感じる関係機関	147	88	32	106	26	101	25	6	1
		100.0	59.9	21.8	72.1	17.7	68.7	17.0	4.1	0.7
施設系事業所	調整や連携が取りにくいと感じる関係機関	147	30	7	14	40	20	13	61	10
		100.0	20.4	4.8	9.5	27.2	13.6	8.8	41.5	6.8

(5) 〔相談支援〕貴事業所において、連絡調整や連携が取りやすい、取りにくいと感じる事業者や関係機関等がありますか。(〇はいくつでも)

調整や連携が取りやすい機関は、「区役所・支所」が最も高く、調整や連携が取りにくい機関は、「利用者のかかりつけ医師」が最も高くなっています。

表 調整や連携が取りやすい・取りにくいと感じる関係機関等(複数回答) 単位: 上段(件)、下段(%)

項目		回答者数	居宅系サービス事業所	通所施設(生活介護事業所、就労移行支援事業所、地域活動支援センター等)	入所施設(障害者支援施設等)、短期入所施設	他の基幹相談支援センター	他の地域相談支援センター	他の指定特定相談支援事業所	区役所・支所	地域リハビリテーションセンター(障害者センター)
相談支援事業所	調整や連携が取りやすいと感じる関係機関	51	31	33	15	28	32	5	37	21
	調整や連携が取りにくいと感じる関係機関	51	8	10	13	6	5	9	5	2
		100.0	60.8	64.7	29.4	54.9	62.7	9.8	72.5	41.2
		100.0	15.7	19.6	25.5	11.8	9.8	17.6	9.8	3.9

項目		回答者数	上記以外の行政機関	地域包括支援センター	利用者のかかりつけ医師	利用者の家族	利用者の後見人・保佐人・補助人	その他	特にない	無回答
相談支援事業所	調整や連携が取りやすいと感じる関係機関	51	8	15	7	22	20	6	1	1
	調整や連携が取りにくいと感じる関係機関	51	8	4	25	9	7	8	7	3
		100.0	15.7	7.8	49.0	17.6	13.7	15.7	13.7	5.9

(6) - 1 [相談支援] 貴事業所では、サービス等利用計画に、利用者や家族の要望・意向をどの程度反映できていますか。(〇は1つ)

「7～9割程度のケースで反映できている」が最も高くなっています。

表 サービス等利用計画への利用者や家族の要望・意向の反映状況 単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	すべてのケースで反映できている	7～9割程度のケースで反映できている	4～6割程度のケースで反映できている	2～3割程度のケースで反映できている	ほとんど反映できていない	無回答
相談支援事業所	51	18	22	9	1	1	0
	100.0	35.3	43.1	17.6	2.0	2.0	0.0

(6) - 2 [相談支援] 貴事業所では、サービス等利用計画を作成するにあたり、利用者の課題の分析(アセスメント)をどの程度実施できていますか。(〇は1つ)

「すべてのケースで実施できている」が最も高くなっています。

表 利用者の課題分析の実施状況 単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	すべてのケースで実施できている	7～9割程度のケースで実施できている	4～6割程度のケースで実施できている	2～3割程度のケースで実施できている	ほとんど実施できていない	無回答
相談支援事業所	51	19	18	12	0	1	1
	100.0	37.3	35.3	23.5	0.0	2.0	2.0

(6) - 3 [相談支援] 貴事業所では、個別支援会議に利用者本人は参加していますか。(〇は1つ)

「7～9割程度のケースで参加できている」が最も高くなっています。

表 個別支援会議への本人参加状況 単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	すべてのケースで参加できている	7～9割程度のケースで参加できている	4～6割程度のケースで参加できている	2～3割程度のケースで参加できている	ほとんど参加できていない	無回答
相談支援事業所	51	6	24	12	5	3	1
	100.0	11.8	47.1	23.5	9.8	5.9	2.0

(7) 〔相談支援〕 貴事業所において、川崎市で不足していると感じるサービスがありますか。ある場合は、特に不足していると感じるサービスはどれですか。
(○は3つまで)

「移動支援」が最も高くなっています。

表 市で特に不足していると感じるサービス (3つまでの複数回答) 単位: 上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	生活介護	療養介護	短期入所(シヨートステイ)	施設入所支援	自立訓練(機能訓練)	自立訓練(生活訓練)	就労移行支援
相談支援事業所	51 100.0	22 43.1	20 39.2	25 49.0	9 17.6	8 15.7	12 23.5	8 15.7	28 54.9	16 31.4	7 13.7	13 25.5	2 3.9

項目	回答者数	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	自立生活援助	共同生活援助(グループホーム)	移動支援	通所・通学支援	あんしんサポート	生活サポート	障害児ファミリースポーツ	地域活動支援センター	日中一時支援
相談支援事業所	51 100.0	11 21.6	6 11.8	4 7.8	10 19.6	29 56.9	37 72.5	18 35.3	12 23.5	5 9.8	5 9.8	6 11.8	13 25.5

項目	回答者数	計画相談支援・障害児相談支援	地域移行支援・地域定着支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	その他	特になし	無回答
相談支援事業所	51 100.0	29 56.9	14 27.5	6 11.8	9 17.6	0 0.0	3 5.9	6 11.8	2 3.9	1 2.0	1 2.0

4 職員について

(1) 令和元年11月1日現在、雇用形態別の職員数をご記入ください。

〔居宅系事業所〕の職員数は平均25.5人で、「正社員・正職員」数は平均4.0人、「パート（常勤）」数は平均2.2人、「パート（非常勤）」数は平均21.1人となっています。

〔GH〕の職員数は平均17.3人で、「正社員・正職員」数は平均4.7人、「パート（常勤）」数は平均3.5人、「パート（非常勤）」数は平均11.8人となっています。

〔施設系事業所〕の職員数は平均12.5人で、「正社員・正職員」数は平均7.1人、「パート（常勤）」数は平均2.7人、「パート（非常勤）」数は平均5.0人となっています。

〔相談支援事業所〕の職員数は平均5.3人で、「正社員・正職員」数は平均3.8人、「パート（常勤）」数は平均0.7人、「パート（非常勤）」数は平均2.8人となっています。

表 居宅系事業所の職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
正社員・正職員	38 100.0	0 0.0	9 23.7	5 13.2	6 15.8	3 7.9	4 10.5	5 13.2	2 5.3	1 2.6	3 7.9	4.0
パート（常勤）	38 100.0	5 13.2	8 21.1	3 7.9	1 2.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	18 47.4	2.2
パート（非常勤）	38 100.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	3 7.9	2 5.3	3 7.9	5 13.2	8 21.1	13 34.2	2 5.3	21.1
職員全体	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	1 2.6	9 23.7	8 21.1	18 47.4	1 2.6	25.5

表 グループホームの職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
正社員・正職員	38 100.0	0 0.0	5 13.2	12 31.6	6 15.8	2 5.3	1 2.6	5 13.2	4 10.5	2 5.3	1 2.6	4.7
パート（常勤）	38 100.0	3 7.9	5 13.2	3 7.9	1 2.6	2 5.3	2 5.3	0 0.0	0 0.0	2 5.3	20 52.6	3.5
パート（非常勤）	38 100.0	0 0.0	1 2.6	3 7.9	4 10.5	3 7.9	3 7.9	6 15.8	5 13.2	9 23.7	4 10.5	11.8
職員全体	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.3	2 5.3	3 7.9	10 26.3	5 13.2	15 39.5	1 2.6	17.3

表 施設系事業所の職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
正社員・正職員	147 100.0	0 0.0	10 6.8	31 21.1	19 12.9	16 10.9	11 7.5	26 17.7	14 9.5	18 12.2	2 1.4	7.1
パート（常勤）	147 100.0	21 14.3	11 7.5	9 6.1	9 6.1	6 4.1	5 3.4	5 3.4	4 2.7	0 0.0	77 52.4	2.7
パート（非常勤）	147 100.0	3 2.0	21 14.3	20 13.6	15 10.2	20 13.6	8 5.4	20 13.6	13 8.8	5 3.4	22 15.0	5.0
職員全体	147 100.0	0 0.0	0 0.0	3 2.0	13 8.8	14 9.5	11 7.5	37 25.2	31 21.1	37 25.2	1 0.7	12.5

表 相談支援事業所の職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
正社員・正職員	51 100.0	0 0.0	10 19.6	14 27.5	14 27.5	6 11.8	3 5.9	2 3.9	0 0.0	2 3.9	0 0.0	3.8
パート（常勤）	51 100.0	8 15.7	7 13.7	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 66.7	0.7
パート（非常勤）	51 100.0	10 19.6	8 15.7	1 2.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	2 3.9	28 54.9	2.8
職員全体	51 100.0	0 0.0	8 15.7	8 15.7	16 31.4	12 23.5	0 0.0	3 5.9	2 3.9	2 3.9	0 0.0	5.3

(2) 「相談支援」令和元年11月1日現在、相談支援専門員の常勤換算人数を御記入ください。

「2人」が33.3%と最も高く、平均2.2人となっています。

表 相談支援事業所の相談支援専門員の常勤換算人数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
相談支援事業所	51 100.0	6 11.8	11 21.6	17 33.3	10 19.6	2 3.9	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	3 5.9	2.2

(3) 令和元年11月1日現在、経験年数別の職員数をご記入ください。

〔居宅系事業所〕の経験年数別職員数は、「5年～10年未満」が平均7.0人、「10年以上」が平均11.2人となっています。

〔GH〕の経験年数別職員数は、「1年～3年未満」が平均5.2人、「5年～10年未満」が平均4.6人となっています。

表 居宅系事業所の経験年数別職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
6か月未満	38 100.0	6 15.8	3 7.9	3 7.9	0 0.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	22 57.9	2.4
6か月～1年未満	38 100.0	7 18.4	7 18.4	3 7.9	2 5.3	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	17 44.7	1.5
1年～3年未満	38 100.0	1 2.6	6 15.8	5 13.2	4 10.5	3 7.9	0 0.0	2 5.3	1 2.6	2 5.3	14 36.8	4.7
3年～5年未満	38 100.0	2 5.3	7 18.4	9 23.7	4 10.5	3 7.9	1 2.6	0 0.0	1 2.6	3 7.9	8 21.1	4.8
5年～10年未満	38 100.0	0 0.0	5 13.2	3 7.9	4 10.5	4 10.5	10 26.3	5 13.2	2 5.3	3 7.9	2 5.3	7.0
10年以上	38 100.0	0 0.0	3 7.9	3 7.9	3 7.9	3 7.9	5 13.2	3 7.9	6 15.8	6 15.8	6 15.8	11.2

表 グループホームの経験年数別職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
6か月未満	38 100.0	2 5.3	10 26.3	2 5.3	3 7.9	2 5.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	18 47.4	1.9
6か月～1年未満	38 100.0	1 2.6	8 21.1	3 7.9	6 15.8	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	17 44.7	2.9
1年～3年未満	38 100.0	0 0.0	9 23.7	4 10.5	1 2.6	1 2.6	3 7.9	5 13.2	3 7.9	3 7.9	9 23.7	5.2
3年～5年未満	38 100.0	1 2.6	10 26.3	2 5.3	3 7.9	6 15.8	1 2.6	3 7.9	3 7.9	1 2.6	8 21.1	4.3
5年～10年未満	38 100.0	1 2.6	5 13.2	7 18.4	3 7.9	4 10.5	5 13.2	4 10.5	3 7.9	1 2.6	5 13.2	4.6
10年以上	38 100.0	2 5.3	3 7.9	8 21.1	5 13.2	2 5.3	2 5.3	6 15.8	2 5.3	0 0.0	8 21.1	3.8

〔施設系事業所〕の経験年数別職員数は、「1年～3年未満」が平均3.8人、「5年～10年未満」が平均3.6人となっています。

〔相談支援事業所〕の経験年数別職員数は、「5年～10年未満」が平均3.0人、「10年以上」が平均2.1人となっています。

表 施設系事業所の経験年数別職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
6か月未満	147 100.0	12 8.2	29 19.7	15 10.2	5 3.4	4 2.7	1 0.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	80 54.4	1.5
6か月～1年未満	147 100.0	11 7.5	35 23.8	16 10.9	8 5.4	6 4.1	3 2.0	4 2.7	2 1.4	0 0.0	62 42.2	2.2
1年～3年未満	147 100.0	4 2.7	30 20.4	26 17.7	17 11.6	8 5.4	8 5.4	15 10.2	3 2.0	4 2.7	32 21.8	3.8
3年～5年未満	147 100.0	5 3.4	32 21.8	19 12.9	14 9.5	12 8.2	5 3.4	9 6.1	3 2.0	4 2.7	44 29.9	3.5
5年～10年未満	147 100.0	6 4.1	26 17.7	26 17.7	10 6.8	11 7.5	9 6.1	16 10.9	4 2.7	2 1.4	37 25.2	3.6
10年以上	147 100.0	8 5.4	21 14.3	19 12.9	18 12.2	6 4.1	10 6.8	10 6.8	4 2.7	1 0.7	50 34.0	3.4

表 相談支援事業所の経験年数別職員数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
6か月未満	51 100.0	6 11.8	4 7.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	41 80.4	0.4
6か月～1年未満	51 100.0	6 11.8	4 7.8	2 3.9	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	37 72.5	1.2
1年～3年未満	51 100.0	3 5.9	17 33.3	1 2.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	2 3.9	0 0.0	26 51.0	1.9
3年～5年未満	51 100.0	4 7.8	8 15.7	4 7.8	2 3.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	32 62.7	1.8
5年～10年未満	51 100.0	3 5.9	11 21.6	4 7.8	3 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.0	1 2.0	1 2.0	27 52.9	3.0
10年以上	51 100.0	2 3.9	22 43.1	5 9.8	3 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.0	2 3.9	0 0.0	16 31.4	2.1

(4) 〔居宅系〕令和元年11月1日現在、ヘルパーの年齢別人数をご記入ください。

〔居宅系事業所〕のヘルパーの年齢別人数は、「60歳代」が平均10.4人、「70歳代以上」が平均9.6人、「50歳代」が平均6.6人となっています。

表 ヘルパーの年齢別人数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
10歳代	38 100.0	12 31.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 63.2	0.1
20歳代	38 100.0	9 23.7	4 10.5	3 7.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	20 52.6	2.4
30歳代	38 100.0	7 18.4	8 21.1	5 13.2	3 7.9	1 2.6	2 5.3	1 2.6	1 2.6	0 0.0	10 26.3	2.3
40歳代	38 100.0	1 2.6	9 23.7	8 21.1	3 7.9	4 10.5	3 7.9	4 10.5	0 0.0	2 5.3	4 10.5	3.6
50歳代	38 100.0	2 5.3	7 18.4	3 7.9	4 10.5	4 10.5	4 10.5	6 15.8	2 5.3	4 10.5	2 5.3	6.6
60歳代	38 100.0	0 0.0	5 13.2	5 13.2	1 2.6	7 18.4	3 7.9	3 7.9	6 15.8	5 13.2	3 7.9	10.4
70歳代以上	38 100.0	0 0.0	7 18.4	6 15.8	5 13.2	1 2.6	0 0.0	2 5.3	1 2.6	3 7.9	13 34.2	9.6

(5) 平成30年度の退職者数をご記入ください。

〔居宅系事業所〕の退職者数は平均2.1人で、「定年退職」が平均0.2人、「定年退職以外」が平均2.1人となっています。

〔GH〕の退職者数は平均2.3人で、「定年退職」が平均0.1人、「定年退職以外」が平均2.3人となっています。

〔施設系事業所〕の退職者数は平均1.9人で、「定年退職」が平均0.2人、「定年退職以外」が平均1.8人となっています。

〔相談支援事業所〕の退職者数は平均0.7人で、「定年退職」が平均0.0人、「定年退職以外」が平均0.7人となっています。

表 居宅系事業所の退職者数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
定年退職	38 100.0	15 39.5	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	21 55.3	0.2
定年退職以外	38 100.0	7 18.4	5 13.2	7 18.4	6 15.8	3 7.9	0 0.0	2 5.3	0 0.0	0 0.0	8 21.1	2.1
退職者全体	38 100.0	7 18.4	6 15.8	7 18.4	5 13.2	3 7.9	1 2.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	7 18.4	2.1

表 グループホームの退職者数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
定年退職	38 100.0	12 31.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 63.2	0.1
定年退職以外	38 100.0	6 15.8	6 15.8	4 10.5	5 13.2	1 2.6	1 2.6	3 7.9	0 0.0	0 0.0	12 31.6	2.3
退職者全体	38 100.0	6 15.8	7 18.4	4 10.5	5 13.2	1 2.6	1 2.6	3 7.9	0 0.0	0 0.0	11 28.9	2.3

表 施設系事業所の退職者数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6 ～ 9人	10 ～ 14人	15人以上	無回答	平均（人）
定年退職	147 100.0	58 39.5	7 4.8	2 1.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	79 53.7	0.2
定年退職以外	147 100.0	34 23.1	36 24.5	12 8.2	11 7.5	3 2.0	5 3.4	8 5.4	1 0.7	0 0.0	37 25.2	1.8
退職者全体	147 100.0	33 22.4	38 25.9	15 10.2	10 6.8	5 3.4	5 3.4	7 4.8	2 1.4	0 0.0	32 21.8	1.9

表 相談支援事業所の退職者数

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～9人	10～14人	15人以上	無回答	平均（人）
定年退職	51	24	1	0	0	0	0	0	0	0	26	0.0
	100.0	47.1	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.0	
定年退職以外	51	21	6	2	0	0	0	0	1	0	21	0.7
	100.0	41.2	11.8	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	41.2	
退職者全体	51	22	6	1	1	0	0	0	1	0	20	0.7
	100.0	43.1	11.8	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	39.2	

(6) 現在、職員の過不足の状況はどれですか。（○は1つ）

〔居宅系事業所〕では「やや不足している」が、〔GH〕〔施設系事業所〕では「適当である」が、〔相談支援事業所〕では「不足している」と「適当である」が最も高くなっています。

表 職員の過不足の状況

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	大変不足している	不足している	やや不足している	適当である	無回答
居宅系事業所	38	12	11	14	1	0
	100.0	31.6	28.9	36.8	2.6	0.0
GH	38	4	7	13	14	0
	100.0	10.5	18.4	34.2	36.8	0.0
施設系事業所	147	15	39	41	51	1
	100.0	10.2	26.5	27.9	34.7	0.7
相談支援事業所	51	8	16	11	16	0
	100.0	15.7	31.4	21.6	31.4	0.0

【職員が「大変不足している」「不足している」「やや不足している」と答えた事業所】

(6) - 1 〔施設系〕 そのうち看護師の過不足の状況はどれですか。（○は1つ）

「適当である」が38.1%となっています。

表 看護師の過不足の状況

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	大変不足している	不足している	やや不足している	適当である	無回答
施設系事業所	147	14	4	11	56	62
	100.0	9.5	2.7	7.5	38.1	42.2

【職員が「大変不足している」「不足している」「やや不足している」と答えた事業所】

(6) - 2 不足した理由はどれですか。(〇は1つ)

いずれも、「採用が困難である」が最も高くなっています。

表 職員の過不足の状況 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	離職率が高い（定着率が低い）	採用が困難である	事業を拡大したいが人材が確保できない	その他	無回答
居宅系事業所	37 100.0	6 16.2	34 91.9	18 48.6	0 0.0	0 0.0
GH	24 100.0	5 20.8	23 95.8	8 33.3	6 25.0	0 0.0
施設系事業所	95 100.0	20 21.1	48 50.5	16 16.8	20 21.1	16 16.8
相談支援事業所	35 100.0	5 14.3	23 65.7	13 37.1	12 34.3	1 2.9

【「採用が困難である」と答えた事業所】

(6) - 3 原因は何にあるとお考えですか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕では「賃金が低い」と「仕事がきつい（身体的・精神的）」が、〔GH〕では「その他」が、〔施設系事業所〕〔相談支援事業所〕では「賃金が低い」が最も高くなっています。

表 採用が困難である原因（複数回答） 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	労働時間が長い	夜勤が多い	休みが取りにくい	雇用が不安定	キャリアアップの機会が不十分	賃金が低い	仕事がきつい（身体的・精神的）	社会的評価が低い	その他	わからない	無回答
居宅系事業所	34 100.0	1 2.9	0 0.0	5 14.7	13 38.2	3 8.8	18 52.9	18 52.9	11 32.4	7 20.6	1 2.9	0 0.0
GH	23 100.0	1 4.3	4 17.4	3 13.0	2 8.7	4 17.4	9 39.1	9 39.1	10 43.5	13 56.5	1 4.3	0 0.0
施設系事業所	48 100.0	6 12.5	2 4.2	4 8.3	4 8.3	8 16.7	24 50.0	19 39.6	23 47.9	11 22.9	3 6.3	0 0.0
相談支援事業所	23 100.0	2 8.7	0 0.0	2 8.7	1 4.3	5 21.7	13 56.5	9 39.1	8 34.8	8 34.8	0 0.0	0 0.0

【GH】「その他」の主な内容

- ・勤務時間が不規則なため、条件が合う方が少ない
- ・精神障害者との接し方がイメージしにくい
- ・介護職と間違えられやすい

(7) 職員確保に向けて、どのような取組を実施していますか。(〇はいくつでも)

いずれも、「採用にあたり、多様な募集ルートを活用し、募集を行っている」が最も高く、〔GH〕では80%を超えています。

表 職員確保に向けた取組 (複数回答)

単位: 上段 (件)、下段 (%)

項目	回答者数	採用にあたり、多様な募集ルートを活用し、募集を行っている	採用にあたり、経営理念、業務内容等を詳細に説明し、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている	採用にあたり、経管理念、業務内容等を詳細に説明し、就労ニーズとのミスマッチの解消に努めている	従業員の賃金について、職能給や業績給を導入し、モチベーション向上に努めている	従業員の能力と就労ニーズを把握しながら能力開発に努めている	従業員の悩みや不安・不満・疑問点等について、上司や同僚に気軽に相談できる体制づくりに努めている	その他	特になし	無回答
居宅系事業所	38 100.0	29 76.3	12 31.6	17 44.7	13 34.2	25 65.8	1 2.6	2 5.3	0 0.0	
GH	38 100.0	31 81.6	19 50.0	15 39.5	13 34.2	28 73.7	4 10.5	1 2.6	0 0.0	
施設系事業所	147 100.0	115 78.2	73 49.7	50 34.0	53 36.1	88 59.9	9 6.1	12 8.2	2 1.4	
相談支援事業所	51 100.0	31 60.8	12 23.5	11 21.6	11 21.6	26 51.0	4 7.8	3 5.9	7 13.7	

【「多様な募集ルートを活用し、募集を行っている」と答えた事業所】

(7) - 1 どのようなルートを活用していますか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕〔GH〕では「職員からの紹介」が、〔施設系事業所〕では「求人広告などの有料媒体」が、〔相談支援事業所〕では「事業所のホームページ」が最も高くなっています。

表 活用しているルート (複数回答)

単位: 上段 (件)、下段 (%)

項目	回答者数	職員からの紹介	ハローワークの利用	求人広告などの有料媒体	事業所のホームページ	人材派遣・人材紹介の利用	福祉人材サービスの利用	学校訪問	その他	無回答
居宅系事業所	29 100.0	26 89.7	13 44.8	18 62.1	19 65.5	3 10.3	5 17.2	4 13.8	2 6.9	0 0.0
GH	31 100.0	27 87.1	20 64.5	20 64.5	16 51.6	5 16.1	10 32.3	3 9.7	5 16.1	0 0.0
施設系事業所	115 100.0	72 62.6	80 69.6	92 80.0	73 63.5	40 34.8	46 40.0	18 15.7	15 13.0	0 0.0
相談支援事業所	31 100.0	22 71.0	22 71.0	23 74.2	24 77.4	6 19.4	15 48.4	6 19.4	4 12.9	0 0.0

(8) 職員定着のために行っている取組は何ですか。(〇はいくつでも)

〔施設系事業所〕では「賃金・労働時間等の労働条件(休暇を取りやすくすることも含める)の改善」が、〔居宅系事業所〕〔GH〕では「労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞くこと」が、〔相談支援事業所〕では「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ること」が最も高くなっています。

表 職員定着のための取組(複数回答)

単位: 上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	賃金・労働時間等の労働条件(休暇を取りやすくすることも含める)の改善	能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映	職員の仕事内容と必要な能力等の明示	キャリアに応じた給与体系の整備	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けること	新人の指導担当・アドバイザーの設置	能力開発の充実(社内研修、社外講習等の受講・支援等)	管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修の実施	労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞くこと	仕事内容の希望を聞くこと(持ち場の移動など)
		居宅系事業所	38 100.0	29 76.3	15 39.5	8 21.1	17 44.7	17 44.7	6 15.8	18 47.4	8 21.1
GH	38 100.0	26 68.4	23 60.5	11 28.9	16 42.1	22 57.9	6 15.8	18 47.4	8 21.1	28 73.7	21 55.3
施設系事業所	147 100.0	112 76.2	70 47.6	58 39.5	65 44.2	74 50.3	29 19.7	85 57.8	48 32.7	83 56.5	70 47.6
相談支援事業所	51 100.0	21 41.2	23 45.1	8 15.7	20 39.2	21 41.2	10 19.6	26 51.0	14 27.5	21 41.2	23 45.1

項目	回答者数	悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている(メンタルヘルスケア)	健康対策や健康管理に力を入れること	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ること	経営者・管理者と従業員が経営方針、ケア方針を共有する機会の設置	業務改善や効率化等による働きやすい職場づくりに力を入れること	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めること(同好会、親睦会の実施含む)	職場環境を整えること(休憩室、談話室など)	子育て支援を行うこと(子ども預かり所の設置や保育費用支援等)	その他	特に取組はしていない	無回答
		居宅系事業所	38 100.0	14 36.8	14 36.8	27 71.1	9 23.7	12 31.6	12 31.6	4 10.5	2 5.3	1 2.6
GH	38 100.0	12 31.6	14 36.8	27 71.1	15 39.5	19 50.0	10 26.3	9 23.7	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	47 32.0	58 39.5	107 72.8	66 44.9	72 49.0	48 32.7	30 20.4	7 4.8	6 4.1	4 2.7	0 0.0
相談支援事業所	51 100.0	21 41.2	14 27.5	32 62.7	9 17.6	13 25.5	9 17.6	4 7.8	3 5.9	4 7.8	2 3.9	2 3.9

(9) 職員の健康管理で実施しているものはどれですか。(〇はいくつでも)

いずれも、「労働基準法に基づく健康診断」が最も高くなっています。

表 職員の健康管理で実施しているもの(複数回答)

単位: 上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	労働基準法に基づく健康診断	結核健康診断(レントゲン検査)	腰痛予防対策	インフルエンザなどの予防接種	感染症に関する検査	メンタルケア	その他	特に何もしていない	無回答
居宅系事業所	38	31	10	6	27	4	9	0	4	1
	100.0	81.6	26.3	15.8	71.1	10.5	23.7	0.0	10.5	2.6
G H	38	33	5	2	27	1	5	5	1	0
	100.0	86.8	13.2	5.3	71.1	2.6	13.2	13.2	2.6	0.0
施設系事業所	147	134	44	19	91	8	39	9	3	2
	100.0	91.2	29.9	12.9	61.9	5.4	26.5	6.1	2.0	1.4
相談支援事業所	51	49	10	5	40	5	21	2	1	0
	100.0	96.1	19.6	9.8	78.4	9.8	41.2	3.9	2.0	0.0

(10) 非常勤職員に対しても健診を実施していますか。(〇は1つ)

〔居宅系事業所〕〔施設系事業所〕〔相談支援事業所〕では「全職員に実施している」が最も高く、〔居宅系事業所〕では50%を超えています。また、〔GH〕では「非常勤職員については実施していない」が最も高くなっています。

表 非常勤職員に対する健診の実施状況

単位: 上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	全職員に実施している	一部非常勤職員に対して実施している	非常勤職員には実施していない	無回答
居宅系事業所	38	22	9	6	1
	100.0	57.9	23.7	15.8	2.6
G H	38	11	10	15	2
	100.0	28.9	26.3	39.5	5.3
施設系事業所	147	52	35	51	9
	100.0	35.4	23.8	34.7	6.1

表 非常勤職員に対する健診の実施状況

単位: 上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	全職員に実施している	一部非常勤職員に対して実施している	非常勤職員には実施していない	配置している非常勤職員は	無回答
相談支援事業所	51	23	9	2	14	3
	100.0	45.1	17.6	3.9	27.5	5.9

(11) 職員育成のために行っている取組は何ですか。(〇はいくつでも)

いずれも、「外部の研修への参加支援」が最も高くなっています。また、〔居宅系事業所〕では「事業所内での研修実施」も最も高くなっています。

表 職員育成のための取組（複数回答） 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	事業所内での研修実施	外部の研修への参加支援	日常的な「〇」の実施	業績評価の導入	その他	特に取組はしていない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	33 86.8	33 86.8	12 31.6	6 15.8	0 0.0	1 2.6	1 2.6
GH	38 100.0	28 73.7	32 84.2	11 28.9	2 5.3	4 10.5	2 5.3	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	105 71.4	122 83.0	64 43.5	31 21.1	13 8.8	6 4.1	1 0.7
相談支援事業所	51 100.0	32 62.7	44 86.3	26 51.0	10 19.6	3 5.9	0 0.0	0 0.0

(12) 職員に受けさせたいと思う研修はどれですか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕〔施設系事業所〕では「緊急時対応・事故対策」が、〔GH〕では「生活支援の技術・知識」が、〔相談支援事業所〕では「相談対応・カウンセリングの技術・知識」が最も高くなっています。

表 職員に受けさせたい研修（複数回答） 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	生活支援の技術・知識	就労支援の技術・知識	緊急時対応・事故対策	相談対応・カウンセリングの技術・知識	感染症対策	虐待防止・身体拘束廃止	ストレスマネジメント	個人情報・プライバシー	その他	特にない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	20 52.6	3 7.9	27 71.1	9 23.7	17 44.7	21 55.3	13 34.2	16 42.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0
GH	38 100.0	30 78.9	7 18.4	29 76.3	21 55.3	22 57.9	24 63.2	17 44.7	18 47.4	5 13.2	2 5.3	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	92 62.6	48 32.7	101 68.7	96 65.3	52 35.4	89 60.5	80 54.4	58 39.5	21 14.3	3 2.0	1 0.7
相談支援事業所	51 100.0	17 33.3	7 13.7	22 43.1	37 72.5	11 21.6	22 43.1	33 64.7	16 31.4	7 13.7	0 0.0	0 0.0

(13) 職員の確保・育成を進めていくためには、今後どのような取組が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

いずれも、「待遇の改善（賃金手当の改善、助成金や補助金の充実等）」が最も高く、80%を超えています。

表 職員の確保・育成を進めていくために必要な取組 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	待遇の改善（賃金手当の改善、助成金や補助金の充実等）	労働環境の改善（休暇の取得しやすさ、働きやすさ等）	福祉や福祉職についての広報・啓発	職員研修の実施・充実	その他	無回答
居宅系事業所	38 100.0	33 86.8	22 57.9	12 31.6	17 44.7	0 0.0	0 0.0
GH	38 100.0	32 84.2	26 68.4	17 44.7	23 60.5	1 2.6	1 2.6
施設系事業所	147 100.0	121 82.3	99 67.3	63 42.9	95 64.6	8 5.4	3 2.0
相談支援事業所	51 100.0	45 88.2	31 60.8	19 37.3	30 58.8	1 2.0	1 2.0

(14) 〔居宅系〕〔GH〕〔施設系〕

外国人労働者の受け入れについてはどうお考えですか。（○は1つ）

いずれも、「どちらでもない」が最も高く、50%を超えています。

表 外国人労働者の受け入れについて 単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	積極的に受け入れたい	どちらかといえば受け入れたい	どちらでもない	どちらかといえば受け入れたくない	受け入れたくない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	0 0.0	5 13.2	25 65.8	6 15.8	2 5.3	0 0.0
GH	38 100.0	3 7.9	6 15.8	21 55.3	4 10.5	4 10.5	0 0.0
施設系事業所	147 100.0	21 14.3	20 13.6	82 55.8	12 8.2	9 6.1	3 2.0

(15) 障害者雇用（受け入れ）についてはどうお考えですか。（○は1つ）

いずれも、「どちらでもない」が最も高くなっています。

表 障害者雇用について

単位：上段（件）、下段（%）

項目	回答者数	積極的に受け入れたい	どちらかといえば受け入れたい	どちらでもない	どちらかといえば受け入れたくない	受け入れたくない	無回答
居宅系事業所	38	3	4	26	3	2	0
	100.0	7.9	10.5	68.4	7.9	5.3	0.0
GH	38	8	3	20	4	3	0
	100.0	21.1	7.9	52.6	10.5	7.9	0.0
施設系事業所	147	34	44	58	8	2	1
	100.0	23.1	29.9	39.5	5.4	1.4	0.7
相談支援事業所	51	10	11	27	1	2	0
	100.0	19.6	21.6	52.9	2.0	3.9	0.0

5 災害時の対応について

(1) 災害時の対策を実施・計画していますか。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕〔施設系事業所〕では「災害対策マニュアル等を作成している」が最も高く、80%を超えています。また、〔GH〕〔相談支援事業所〕では「災害時の備蓄対策をしている」が最も高くなっています。

表 災害時の対策を実施・計画しているか(複数回答)

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	災害対策マニュアル等を作成している	災害時の備蓄対策をしている	施設の耐震対策(ガラスの飛散防止・棚類の転倒防止など)を実施している	防災訓練などで近隣の住民組織(町内会、自主防災組織)と連携したことがある	その他	特に何もしていない	無回答
居宅系事業所	38 100.0	31 81.6	17 44.7	9 23.7	6 15.8	0 0.0	3 7.9	0 0.0
GH	38 100.0	25 65.8	31 81.6	10 26.3	13 34.2	11 28.9	1 2.6	1 2.6
施設系事業所	147 100.0	119 81.0	115 78.2	66 44.9	30 20.4	23 15.6	7 4.8	1 0.7
相談支援事業所	51 100.0	23 45.1	27 52.9	12 23.5	6 11.8	6 11.8	7 13.7	2 3.9

(2) 災害発生時に協力可能なこと(〇はいくつでも)

いずれも、「利用者の安否確認とその情報提供」が最も高く、70%を超えています。

表 災害発生時に協力可能なこと(複数回答)

単位：上段(件)、下段(%)

項目	回答者数	障害者の長期的な受入れ	障害者の一時的な受入れ	避難先への職員の派遣	障害者への医療的ケアの提供	利用者の安否確認とその情報提供	障害者に関する物資やサービスの一時的な提供	その他	無回答
居宅系事業所	38 100.0	0 0.0	5 13.2	9 23.7	2 5.3	33 86.8	12 31.6	1 2.6	1 2.6
GH	38 100.0	3 7.9	12 31.6	4 10.5	3 7.9	29 76.3	13 34.2	4 10.5	1 2.6
施設系事業所	147 100.0	5 3.4	70 47.6	35 23.8	6 4.1	128 87.1	46 31.3	6 4.1	6 4.1
相談支援事業所	51 100.0	0 0.0	11 21.6	12 23.5	1 2.0	44 86.3	7 13.7	2 3.9	1 2.0

(3) 川崎市に要望したいことなどを自由に書いてください。／サービスを提供している中で、現在または将来に向けて課題として認識していること、及び利用者からの要望が多いものなどを自由にお書きください。(〇はいくつでも)

〔居宅系事業所〕〔GH〕〔相談支援事業所〕では「行政の対応・制度について」が、〔施設系事業所〕では「人材確保・育成について」が最も高くなっています。

表 自由記述 (複数回答)

単位：上段 (件)、下段 (%)

項目	回答者数	行政の対応・制度について	福祉サービス全般について	人材確保・育成について	事業運営について	障害への理解・啓発について	防災・災害時の対応について	その他	無回答
居宅系事業所	38	12	5	10	7	6	7	4	15
	100.0	31.6	13.2	26.3	18.4	15.8	18.4	10.5	39.5
GH	38	18	7	14	10	9	9	7	8
	100.0	47.4	18.4	36.8	26.3	23.7	23.7	18.4	21.1
施設系事業所	147	65	63	97	67	61	66	5	9
	100.0	44.2	42.9	66.0	45.6	41.5	44.9	3.4	6.1
相談支援事業所	51	20	12	13	9	8	5	4	18
	100.0	39.2	23.5	25.5	17.6	15.7	9.8	7.8	35.3

自由記述の主な内容

<行政の対応・制度について>

- ・制度改正について知る機会を増やしていただきたい。
- ・行政への質問回答方法を改善してほしい。

<人材確保・育成について>

- ・福祉業界に目を向けてもらえるような処遇改善等の取り組みが必要。
- ・離職者が多く、人材育成のシステムを確立することが難しい。